

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652**「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」を設立！**
～ベンチャー企業投資・育成を通じて社会課題解決を実現～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2022年3月31日（木）、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合」を設立しましたのでお知らせいたします。

当ファンドは、2019年2月に設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号」（以下、「2号ファンド」）の後継ファンドです。2号ファンドの投資可能額が上限に近づく中、次世代の地域経済を担う企業の創出・育成を目的に、ベンチャー企業専用ファンドとして設立いたしました。

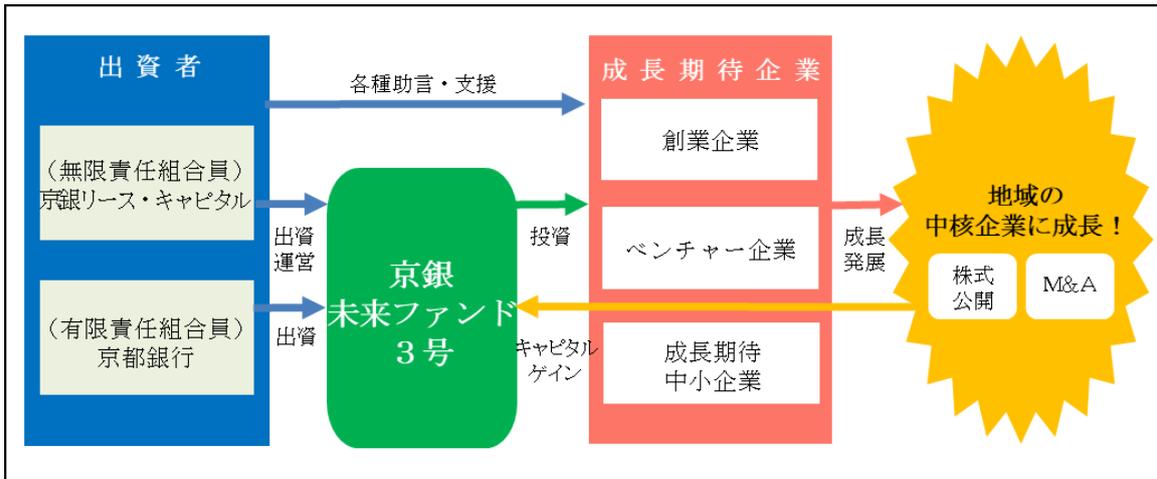
当行では、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

ファンドの概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号)
投資対象	・当行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・当行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業等を行う日本国内の企業
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2022年3月31日
存続期間	10年（2022年3月～2031年12月）

<ファンドのイメージ>



<ご参考>

京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (G P)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (L P)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年(ただし、合意により2年間の延長可能)
投資実績	投資先：25社 投資総額：1,463百万円(2022年3月末時点)

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

